

# はる にくす

No.113 2021.1  
ISSN : 0287-8194

## 目次

英国での学生生活と図書館 (山口 行一) . . . . .	1
工大コレクションについて . . . . .	2-3
SDGs 持続可能な開発目標 . . . . .	4
君に薦める一冊の本 (田岡 育恵) . . . . .	5
図書館スタッフおすすめの本 . . . . .	6
図書館サービスの紹介 . . . . .	7
図書館からのお知らせ . . . . .	8



## 英国での学生生活と図書館

工学部 都市デザイン工学科

教授 山口 行一

私は、縁あってロンドンの大学の博士後期課程に入りましたが、博士論文について何をどうすればいいのかわからず、しょっちゅう口内炎ができて不眠に悩まされた暗黒の時代になりました。そうした時期、図書館に支えられたと思います。

通った大学院の授業形式は、日本に比べ受講生が少ないということもありましたが、教員の高度な知識や情報を効率的に学生に流し込んで、ある種の大量生産で均質な学生を社会に送り出すというよりは、学生が主体的に成立させる授業に教員が参加するというような、受講生が当該科目の範囲で、何を学ぶのか、学びあうのかは比較的柔軟で、諸々のテーマについて自分なりの意見や考えを構築できたら社会に送り出すというのが、割とあったように思います。(あくまで個人の見解です。)

後者の授業は、予習 (Reading Assignment) を全員がやってくることが授業成立の前提かつ授業の質にもかかわるため、予習の負担が当然重くなります。授業は、予習を図書館で借りた本で済ませ、受講生同士で成果を共有しあって、その中から解を探したり、作り出したりする時間となります。その過程で、教員の豊富な視点や知見によってその解を壊されて絶望を味わわれます。そして、受講生は、再検討することで理解を深め、自分なりの意見を持ち、他人に「なぜ?」「どうして?」と問われてもしっかり議論できるように育てられます。また、留学生が多いと、文化や風習に対する倫理観のようなものも養われると思います。

博士後期課程では1年目が終わる頃、取り組んでいる研究を続ける価値があるかを見極められる進級審査があり、合格すると、晴れてPh.D Candidateとなります。進級審査は、学位にチャレンジする仮説と仮説の検証方法を評価されます。入学時に指導教員から、Ph.Dは研究者となるための免許だから、自分だけの研究領域を自分で作りなさいと諭され、図書館で論文を読んでいろいろ取り組んだのですが、何も組み立てられず、途方に暮れたことを思い出します。

学ぶ上で、学部生や大学院生にとって図書館は必要不可欠です。キャンパスを歩いていると、図書館で何冊も本を借りて寮まで歩いて帰る学生をたびたび目撃しました。私も、ロンドン生活の大半を図書館で過ごしたように思います。通っていた大学の図書館は蔵書数が多く、学生であっても、インターライブラリーローンも電子ジャーナルも無料で読みたいだけ読めるという環境で、図書館内の学習スペースには、コンセントもあり、PC作業をしている学生も多かったと思います (学習スペースの座席は4,000席超あるようです)。図書館には、過ごそうと思えばいくらでも過ごせる居心地の良さがありました。学力の基盤は、講義室だけでなく、図書館やラボ、スタジオ、研究室でも大いに育まれていると思います。

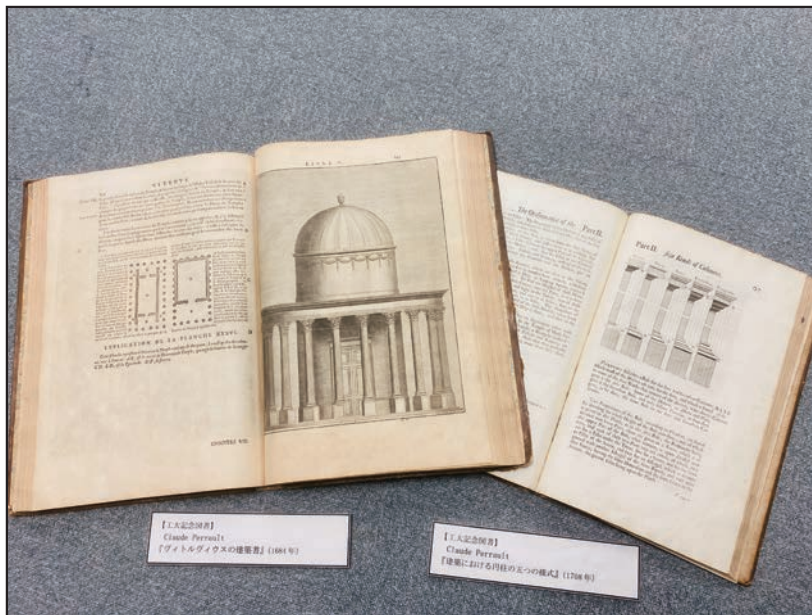
新型コロナウイルス感染症により、働き方、学び方は変わることを余儀なくされました。大学におけるニューノーマルが構築されていく中で、図書館の利用も変わっていくと思いますが、これからも身近な存在であってほしいと思います。

## 記念図書

1980年9月工大大宮キャンパスにおける独立図書館の竣工を記念して、東洋・西洋の建築学関係の図書、特に建築史を中心に充実を図りました。

東洋建築は、日本、中国、朝鮮の三カ国の社寺に関する図書を収集しています。

西洋建築は、ルネッサンス建築に関する資料を中心に、可能な限り集めました。



## 現在の工大コレクション展示

工大図書館大宮本館2階学術雑誌室には、『工大図書館コレクション展示』のコーナーがあります。「記念図書」「玉置文庫」資料を中心に展示しています。

現在は「伴大納言絵詞」の展示を行っています。

「伴大納言絵詞」は応天門の変を絵巻にしたもので、工大図書館が所蔵しているものは考古学会が1910年に作製した複製品ですが、現物は国宝にも指定されています。



伴大納言絵詞  
— 絵巻に見る応天門の変 —





貴重書。記念図書は約1,800冊、玉置文庫は約2,100冊所蔵しています。

# 玉置文庫

玉置豊次郎先生（1899－1984）は大正12年東京帝国大学工学部建築学科を卒業後、1956（昭和31年）から1979年（昭和54年）まで23年間にわたり大阪工業大学建築学科の教授として教育・研究に従事されました。

1984年（昭和59年）にご逝去されたのち、ご遺志により大阪工業大学にご寄贈頂きました。



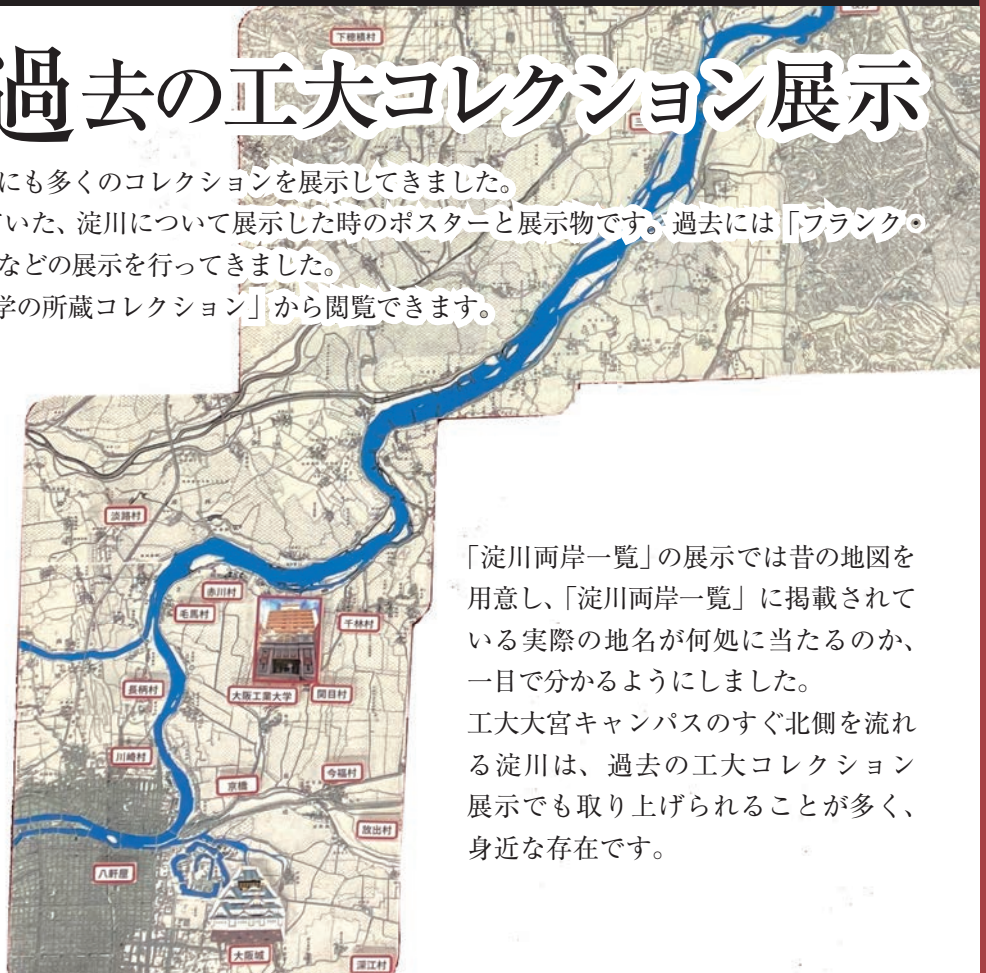
## 過去の工大コレクション展示

工大図書館コレクション展示では、これまでも多くのコレクションを展示してきました。

下図は2019年2月～2020年9月末まで行っていた、淀川について展示した時のポスターと展示物です。過去には「フランク・ロイド・ライト」や「神道大事典」についてなどの展示を行ってきました。

過去の展示のポスターは、図書館HPの「本学の所蔵コレクション」から閲覧できます。

淀川兩岸一覽  
— 琵琶湖から天満まで旧淀川の旅 —



「淀川兩岸一覽」の展示では昔の地図を用意し、「淀川兩岸一覽」に掲載されている実際の地名が何処に当たるのか、一目で分かるようにしました。

工大大宮キャンパスのすぐ北側を流れる淀川は、過去の工大コレクション展示でも取り上げられることが多く、身近な存在です。



# SDGs

— エス・ディー・ジーズ —  
持続可能な開発目標

2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs。名前は聞いたことがあっても、何のことか分からない、という人も多いはず。SDGsとは何か、大学や私たち個人ができることは何か、SDGsの学内普及に取り組んでいる国際交流センターに話を伺いました。

## SDGsってなに？

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、「2030年までに全世界の人と協力して、世界を良くするための目標」です。「持続可能な開発」とは、「将来の世代の欲求に応えながら、現在の世代の欲求を満たす開発」と国連は定義しています。平たく言うと「世の中がずっと伸びていくための道しるべ」であり、「後のことも考えて知恵、技術、お金を使いましょう」と呼び掛けていると言えます。「環境」「社会」「経済」の問題について17の目標と、それを達成するための169のターゲット（より具体的な目標）を掲げ、「誰も置き去りにしない」世界をつくること、それがSDGsの目指す社会です。

## 国際交流センターはどんな取り組みをしているの？

本学の国際交流プログラムの目玉としているのが国際PBLです。海外の学生とチームを組んで共通の課題に取り組み、限られた期間内に解決方法を提案します。これはSDGsの趣旨とも合致するので、2020年度から同プログラムの共通テーマに設定し、各学科のプロジェクトとSDGs対応ゴールのマッピングを行いました。

また、学生・教職員にSDGsの理解を深めてもらうために、ユニテッドピープル社が運営する映画上映サイト「Cinemo（シネモ）」から国際PBLのテーマに関連する17作品を選定し、オンラインで無料配信しています。2021年5月末までご覧いただけますので、是非申し込みください。

12月14日には岡山大学の狩野光伸教授（SDGs推進企画会議議長）を講師に招き、SDGsをテーマにグローバルSD研修会を開催しました。

## 私たちにできること

私たち個人ではどんなことができるのでしょうか？17の目標にある「貧困をなくそう」や「海の豊かさを守ろう」といった、あまりにも壮大な目標の前では、自分には関係ないことになってしまうかもしれません。ですが、SDGsは、身近なことから取り組めることがたくさんあります。例えば、電気を節約する、エコバックを使う、資源をリサイクルする、などが当てはまります。どれも日常生活で行っていることですが、それが未来に、「世界の目標」に繋がります。

最近では企業でも様々な取り組みをしています。理工系分野の学問はすべて課題解決に通じており、皆さんが社会に出た時に、大学での取り組みが役に立つかもしれません。

図書館では現在、SDGsの取り組みのヒントがわかる本を展示しています。

現在の、そして未来の世界をより良くするためにどうすればいいか、一緒に考えていきましょう。



映画配信サービスの登録  
申し込みはこちらから

# SDGs × 図書館



▲大宮本館



▲梅田分館

各図書館でSDGsについて特集展示を行っています。SDGsを分かりやすく解説したものから、ごみの分別まで、様々な資料を展示しています。どんな本があるのか期待してお立ち寄りください。写真は各図書館における展示の様子です。



▲枚方分館

# 君に薦める 一冊の本



情報科学部  
情報メディア学科 教授  
田岡 育恵

著者は朝日新聞の記者を50歳で辞め、福島原発事故以来、電気に頼らぬ生活ということで、エアコンなし、洗濯機なし、掃除機なし、冷蔵庫も手放したというような人です。

極力、電気に頼らぬ生活をしている著者が冬の寒さを凌ぐのは「湯たんぽ」だけなのですが、そのような生活の中で苦手だった「寒さ」が気にならなくなったと書いています。

『暖房に頼っていたころ、寒さは全面的に排除すべき敵であった。暖房をやめると、その敵と共存しなくてはいけない。そうなると、敵の中に何とか「よいところ」を見つけるしかない。それはたとえば、こんなことだ。寒い外から首をすくめて帰宅すると、誰もいない家でも少しだけ暖かい。この小さな幸せを胸に台所へ向かい、湯を沸かす。火と蒸気でまた少し暖かくなる。鍋のチロリに日本酒を満たし、湯で爛をつける。十分熱くなったところでぼつりとした猪口に注ぎ、そっと口をつける。このうまさといったら！暖房の利いた部屋で、これほどの幸福は味わえまい。私たちは経済成長とともに「ある」幸せを求めてきた。金がある。電気がある。暖房がある。ああ幸せ！それに慣れると「ない」ことを恐れるようになる。でも実は、「ない」中にも小さな幸せは無限に隠れているのだ。』

私たちは、自分の好きではない人や状況について託つことがあります。困ったと思う状況の中でも何か楽しいことはあるはず！という考えには心励まされる気がします。もう一つ気に入った箇所を引用します。

## 『アフロ記者』



著者名 | 稲垣 えみ子

出版社 | 朝日文庫

出版年 | 2019

【大宮本館】

配置場所 | 工大君に薦める

請求記号 | 304III

資料ID | 91200885

『わかってきたのは、本当に言いたいことは、その人のどうしようもない弱さやコンプレックスから出てくるということだ。解決のつかない問題を抱えて苦しんでいる人は、たとえ意識しなくてもその答えをいつだって求めている。いやそれは何だっていいんだよ。モテないとか親との関係が悪いとか、上司にいじめられているとか。人生はだいたい苦しみでできている。で、肝心なのはそれをスマートに解決したり見て見ぬふりをしたりすることじゃない。じっと抱えることだ。苦しんでいる人は、何を見ても、誰に話を聞いても、解決のヒントになりそうなものは見逃さない。そしてわずかでも光を見出した時、もう本当に心から共感し、そのことを誰かに必死で伝えようとする。そして、その文章は同じように弱さを抱えた人を救う。』

ここを読んで、自分に苦手だと思うこと、コンプレックスがあるというのは、案外、いいことなんじゃないかなと思いはじめました。気になる弱点があればこそ見えてくることがある。他人の辛いところにも共感できる。もちろん、コンプレックスに囚われ過ぎてて身動きできなくなるというのはよくないですが、不得手なことがあるのも、どこかで自分のためになるのではないかと思います。

私が著者に共感するのは、上から目線ではなく、弱者の立場から、それでもめげずに人生を楽しもうとする姿勢です。どんな時でも毎日を明るく過ごすことは可能だという勇気をこの本は与えてくれるように思います。





## 図書館スタッフおすすめの本



吉藤健太郎  
『「孤独」は消せる。  
私が「分身ロボット」で  
かなえたいこと』  
(サンマーク出版)

【大宮本館】  
配置場所 | 工大一般図書  
請求記号 | 548.311Y  
資料ID | 91181852

分身ロボット「OriHime」を作った吉藤健太郎さんの自伝的書籍。自身の引きこもり経験から着想を得て、「OriHime」を制作して発展していく様子が描かれる。本書を通して「人は人との関わり無しには生きられない」というテーマがあるが、引きこもりを脱するきっかけとなったロボットコンテストなど、吉藤さんの人生もそのテーマに象徴される出来事が多い。「OriHime」は遠隔操作で動かして、声を届けるだけでなく動きで感情表現を行うロボットで、怪我や障害などで身体がその場に行くことができなくても、その場にいるような感覚を共有することができる。吉藤さんのものづくりの精神から新しい未来が作られていく様に、読んだ後もわくわくすることができる。  
(スタッフ：井上)

『火星の人』は火星の調査に向かった主人公が一人取り残されるSF小説で、簡単に言うと火星版ロビンソン・クルーソーだ。地球からは死んだと思われている主人公マーク・ワトニーは一人脱出の方策を考えるが、大きな問題に気付く。それはカロリー(食糧)が絶対的に足りないことだった。そこで植物学者でもある彼は、拠点を含めてジャガイモ畑にしてしまうことを思いつく。火星の土を使って、ジャガイモが生長する土壌を作るエピソードも面白いが、物語の途中で彼の生存を知った地球のクルー達がいかにして彼を生還させるか、知恵を絞るやり取りも見逃せない。最後に特筆すべき点は、主人公の精神性だ。彼が絶望的な状況に悪態をつきながらも、決してあきらめず、わずかな手掛かりを頼りに一歩ずつ進んでいく姿は感動的だった。この話は映画版のタイトル「オデッセイ(冒険の意)」にふさわしい作品である。  
(スタッフ：神田)



アンディ・ウィアー  
『火星の人』  
(早川書房)

【大宮本館】  
配置場所 | 工大PBLコーナー  
請求記号 | 933.711W1上  
資料ID | 91180265



江戸川乱歩  
『江戸川乱歩傑作選』  
(新潮文庫刊)

【大宮本館】  
配置場所 | 工大文庫本  
請求記号 | 913.611E  
資料ID | 91171872

衝撃だった。乱歩の作品は陰湿で、厭らしく、読んでいて陰鬱とさせるものがある。芋虫はまさにそれで、たった30頁程の小説でこれほどの衝撃を受けるとは、感嘆すら覚えた。芋虫は戦争で生き残ったが動くこともできない、まるで芋虫のような姿になってしまった夫と妻・時子の話である。哀れな夫とその妻は世間から切り離された世界で生きていたが、時子はただの貞節な妻ではない。時子はまるで芋虫のような夫に無性に唆られ、嗜虐心が抑えられない。そんな矮小な女の残虐性や葛藤が描かれている。こう書くとなんとも気持ち悪いだけの物語に思えるが、芋虫の凄いところはラストにある。終盤、時子が夫の身体でも無事であった目を潰してしまい、人を呼びに行っている間に動けない筈の夫が消えてしまう。人の手を借り必死に探す時子達の耳に絶望的な音が届く。聞いたことなど一度もない筈の音が脳内ではっきりと再生される、あの怖気にも似た快感を是非とも味わってほしい。  
(作品内『芋虫』より)  
(スタッフ：谷川)

# 図書館 サービスの紹介

図書館を使いこなす為の虎の巻！／

## 図書館クイックガイド

図書館内に置いてある「図書館クイックガイド」を読めば、図書館の使い方が簡単に分かります✳  
ここではどんなことが書かれているのか、各編を紹介します！

### 図書を探してみよう!!

閲覧編①は、主に図書の探し方について説明しています。この編は大宮・梅田・枚方の各館ごとのバージョンを用意しています。図書館のマップを載せているので、どこに本があるのか探しやすいなっています。所属しているキャンパスの図書館について知るなら、まずはこれ！



閲覧編①

### My Libraryを使いこなそう!!

閲覧編②は貸出状況や、図書の予約ができるMy Libraryについて説明しています。条件はありますが、図書の貸出期限延長もできる、優れものです。便利な機能、My Libraryを使いこなしましょう！

### 閲覧編②



便利だなあ！



ご自由にお取り  
ください✳

### 図書を取り寄せよう!!

相互利用編①は学内相互貸借の申込方法を紹介しています。相互貸借とは、他の図書館から本を借りることです。読みたい本があるけど、図書館にない、そんな時は諦めず、他の図書館にないか探してみましよう！工大と同じ常翔学園設置学校からの貸借は送料無料ですので、ご安心ください！



相互利用編①

### 文献を 取り寄せよう!!

相互利用編②は複写依頼方法について説明しています。貸借できない図書・論文などがあつた場合は、複写(コピー)を依頼することで資料の収集ができます。コピー代と送料(学内は送料無料)はかかりますが、一度覚えるととても便利なサービスです。

### 相互利用編②



### 学術雑誌を利用しよう!!

学術雑誌編では、学術雑誌と一般雑誌の違い、論文の探し方などを説明しています。ネット上で論文が閲覧できる「電子ジャーナル」や、レポート作成に役立つ「データベース」について知りたい方には一読の価値あり！



学術雑誌編

### 図書館で試験・レポート対策!!

そもそもレポートとは？という方、多いのではないのでしょうか？図書館で何を調べたらいいのかもわからない、そんな時は是非この特別編を一読ください！レポートの作り方や、資料収集の方法、論文作成に便利なデータベースや電子ジャーナルの情報など、必ず役に立つ情報が満載です！



特別編

## モバイルOPACを利用しよう！

図書館が所蔵している資料を検索できるOPACが、スマートフォンアプリ「Ufinity」になりました！スマートフォンに適した見やすい画面で、資料検索が簡単にできます。「マイスペース」(ブラウザではMy Library)にログインすれば、図書の返却期限の確認、返却期限の延長などのサービスも利用できます。



▲TOP画面。蔵書検索から詳細検索も行えます。

### ダウンロードはこちらから

App Store



Google Play



My Libraryについては、上記のクイックガイド閲覧編②を是非ご覧ください！アプリをダウンロードして、サクサク快適にお使いください✳

# 図書館からのお知らせ

## 2019年度 図書館利用状況

入館者数等（学外利用者含む）

大宮本館・梅田分館・枚方分館の利用統計は、右表のとおりです。

2019年度は、データベース利用講習会やレポート作成ガイダンスを開催し、研究やレポート作成における情報収集のポイントなどを支援しました。

ラーニング・コモンズでは、年間を通して授業や自習、ミーティングやプロジェクト活動など、学生が自主的に利用しています。また、大宮本館では工大ウォッチング大賞の授賞式や全国大学ビブリオバトル地区決戦、梅田分館では企業懇談会、枚方分館の学生主催のプレゼン大会など様々なイベント会場としても、利用されています。

大宮本館のAV室には新たに自習席を設け、学生のみなさんの学習スペースを拡充しました。

区分	大宮本館	梅田分館	枚方分館	合計	
開館日数	2019年度	284日	284日	282日	—
	2018年度	283日	279日	280日	—
	2017年度	286日	285日	285日	—
入館者数	2019年度	58,703人	78,523人	27,713人	164,939人
	2018年度	67,012人	66,611人	27,894人	161,517人
	2017年度	77,805人	70,957人	30,950人	179,712人
1日あたりの平均入館者数	2019年度	207人	276人	98人	581人
	2018年度	237人	239人	100人	576人
	2017年度	272人	249人	109人	630人
貸出者数	2019年度	10,423人	3,652人	5,106人	19,181人
	2018年度	10,928人	3,219人	5,041人	19,188人
	2017年度	12,923人	3,153人	5,053人	21,129人
貸出冊数	2019年度	19,642冊	6,158冊	9,160冊	34,960冊
	2018年度	21,242冊	5,350冊	8,884冊	35,476冊
	2017年度	23,927冊	5,454冊	9,210冊	38,591冊

## 郵送貸出サービス&カウンター受取予約サービス

2020年度の工大図書館では、オンライン授業を受けている学生を支援するため、図書資料の郵送貸出サービス及びカウンター受取予約サービスを行っています。ご利用の際は、必要事項を記入の上、学内メールアドレスからホームページに記載されているメールアドレスまで送信してください。必要事項は郵送貸出サービス、カウンター受取予約サービスで異なりますので、必ずご確認ください。

### 郵送貸出サービス

指定された住所に、希望の図書資料を郵送いたします。但し、大型本や禁帯出の図書資料は、お送りできない場合がありますので、ご了承ください。

詳しくは隣のQRコードからご確認ください。



### カウンター受取予約サービス

各キャンパスの図書館カウンターに、希望の図書資料を取り置きいたします。お渡しの準備ができましたら、メールで通知しますので、図書館まで受け取りにきてください。図書資料の取り置き期間は準備完了メールの配信後、一週間です。

詳しくは隣のQRコードからご確認ください。



## 図書館からのお願い

図書館を利用する際は、マスクの着用、手指消毒、検温にご協力をお願いします。また体調不良の方は、ご利用をお断りする場合がありますので、ご了承ください。

大阪工業大学図書館報「ぱびろにくす」No.113 (2021.1)

編集発行 大阪工業大学図書館

〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16-1 TEL 06-6954-4108 FAX 06-6953-9499

<http://www.oit.ac.jp/japanese/toshokan/index.html>



図書館公式Twitter @OIT\_Lib